

活動紹介

春爛漫・公園春まつり

4月29日（祝）、第7回きらら浜自然観察公園春まつり

が開催されました。前日から天気がぐずつき当日の予報も雨のち曇りという悪条件の中、午前9時の開会時から多くの方が続々来園されました。ビジターセンター内では木片を使っての工作や、自分が書いて色を塗った絵が缶バッチにできるコーナー、昔なつかしいお手玉で遊んだりと色々な体験ができました。一番人気は今年もハチミツ絞り体験で、順番を待つ長い列ができました。午前と午後フルートの演奏があり、美しい音色がホールに響きました。玄関前では葦の会がコーヒー、ポップコーンを販売。ミニフリーマーケットも開きました。お昼にはうどん、おにぎりなどを食べてゆっくりしてもらおうと、休憩コーナーを設けました。花あり、野菜あり、バードウォッチングあり、葦の会パワーで雨雲をふき飛ばした春爛漫の一日でした。



研修旅行 ～屋代ダム→なぎさ水族館→ジャム工

房ほか ～

5月25日（日）公園園長と会員15名で自然豊かな周防大島に出かけました。最初の屋代ダムではバードウォッチングと植物観察。昼には地元で獲れた豪華な魚料理をいただき、その後、日本一小さいと言われるなぎさ水族館に向かいました。そこで、ピンクの可愛い花のような泡珊瑚を観察、寒くなるとブルーのきれいな色に変わるそうです。タッチプールにはヒトデやナマコなどがいて家庭的な温かみのある施設という印象を受けました。安芸灘に面したジャム工房のガーデンで海を見ながら優雅にお茶を楽しみ、帰りに寄った光市の冠山総合公園では色とりどりのバラに囲まれた大満足な一日でした。

新作紙芝居に意欲 ～ショートプログラムチーム～

新年度がスタートして2ヶ月。メンバーの顔も揃い今年度の活動が決まりました。目玉企画として新しい紙芝居を作ることが提案され検討を重ねた結果、日常の公園の風景を取り入れながら観る人が「面白い」と感じてくれるような紙芝居を作ることになりました。ストーリーが8割がた出来上がり、これから細部調整をして場面の製作にかかります。

チームとして紙芝居製作を手がけるのは「アカテガニあっちゃん海へ行く」「今年もツバメがやって来た」に次いで3作目になります。メンバーは「自然観察公園としてのメッセージ性の中に夢とポエムと感動のある紙芝居にしました。是非子ども達に観て欲しい」と語り、製作に意欲を燃やしています。新作紙芝居は10月に行われる「きらら浜自然観察公園ふれあいまつり」でお披露目される予定です。